



「若者と考える拉致問題広報プロジェクト」

届け、私たちの声

～拉致問題を学び、私たちの言葉で伝える～

1 事業概要

- 拉致問題の広報について、広報内容や情報発信手法等について若者が考える場を設け、若者の意見を取り入れた広報を行うことにより、若年層への啓発の強化を図る。
- 具体的には、新潟県内の中学生を対象にワークショップを実施し、一連のプロセスを通じ、拉致被害者・ご家族の思いを知り、拉致問題の経緯・現状等を学ぶことで、理解と関心を深めてもらう。
- その上で、自分たちの感じたことや考えたことを話し合い、広報の内容や情報発信手法等について考え、その内容を「忘れるな拉致 県民集会」で発表する。また、参加者が考えた内容をもとに広報動画等を制作し、県内に広く情報発信する。

2 主 催

新潟県、新潟日報社、新潟市 ※「忘れるな拉致 県民集会」の共同主催者

3 共 催

柏崎市

4 参 加 者

新潟県内の中学生 10 名

5 実施期間

令和 8 年（2026 年）8 月～11 月 ※8 月は夏休み期間中、10～11 月は土日

6 主な会場

新潟日報メディアシップ及びメディアプラス、柏崎市

※ 第 1 回ワークショップでは、柏崎市で蓮池薫さんから講話をお聞きする予定

※ 第 2 回ワークショップでは、新潟市で横田めぐみさんの拉致現場を視察する予定

7 全体スケジュール

内 容	時 期	会 場
第 1 回ワークショップ	8 月 10 日（月）	柏崎市役所等
第 2 回ワークショップ	8 月 19 日（水）	新潟日報メディアシップ等
第 3 回ワークショップ	10 月 4 日（日）	新潟日報メディアプラス
成果発表「忘れるな拉致 県民集会」	11 月 14 日（土）	新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）
制作した広報動画等を情報発信	成果発表以降	-

8 そ の 他

当プロジェクトでは、一連のプロセスを報道機関に公開し、メディアを通じた情報発信に取り組む予定です。